

社長さんが知っておきたい
冠婚葬祭のマナー



大人の知恵袋②9
～五節句(ごせっく)って何ですか?～

四季のある日本の伝統文化としての意味や由来を知ると、年中行事もより身近に感じますよね。前回は、日本の季節の節目に行われる年中行事として伝わっている5つの節句、**五節句(ごせっく)**についてお話ししましたが、今回は、その五

節句の内容について、一つずつご紹介させていただきます。



Q. 「人日(じんじつ)の節句」って何ですか?

A. 1月7日に行われる五節句のうちの一つで、「七草(ななくさ)の節句」とも呼ばれています。

新しい年の初め、「五節句」の最初が1月7日の「人日の節句」です。節句料理として「七草粥(ななくさがゆ)」を食べ、無病息災を祈る

ことから「七草の節句」とも呼ばれています。

諸説ありますが、古来、中国では元日から七日までの各日に、動物をあてはめて占いを行う風習がありました。

正月の1日を鶏の日、2日を狗(犬)の日、3日を猪(豚)の日、4日を羊の日、5日を牛の日、6日を馬の日とし、その日はその動物を大切に扱う習慣となり、7日を「人の日」として、犯罪者に対する刑罰を行わないことにして人を大切にする「人日(じんじつ)」という節句となりました。

人日には、一年の無病息災を願い、また正月の祝膳や祝酒で弱った胃を休めるために、7種類の野菜を入れた熱い汁物を食べられていた習慣があり、これが奈良時代の日本へ伝わった際、日本古来の「若菜摘み」の風習と結びつきました。

江戸時代には、五節句の1つに数えられる公式行事となり、7日の朝に食べる「七草粥」は、現代にも続く風習となりました。

Q. 七草粥の「七草」って何ですか?

A. 一般的には「春の七草」を指します。

①芹(せり)②薺(なずな)③御形(ごぎょう)④繁縷(はこべら)⑤仏の座(ほとけのざ)⑥菘(すずな)⑦蘿蔔(すずしろ)といった、薬効のある薬草や栄養価の高い野草の若葉のことを指します。

地域によっては、その時期に採れる7種類の野菜を入れたお粥や、野菜以外の具やお餅を入れて7種類としたものも、節句料理として根付いています。

今回も参考にさせていただければ幸いです。
(fami友葬・清水ふじ代)